

平成 23 年度 図書館モデル公開授業 研究実践校 札幌市立西岡小学校 第 4 学年の実践

「秋深し」～季節を感じる言葉集め

学習のねらい

- ・学校図書館、地域の図書館で学んだ図書館利用の仕方を生かし、自分で探したい事柄について本を見付けることができる。
- ・図書館利用を通じて読書への関心を広めることができる。

主な学習活動



- ・「秋深し」の学習で、子どもたちから出たたくさんの「秋」を感じる言葉の中から、一人一つの言葉について、学校図書館の本で調べ学習を行った。図書館の本の分類について知るだけでなく、その分類があるから本を探しやすいということを実感できた。
- ・学校図書館での活動を発展させて、「秋」を感じる言葉の本を西岡図書館で見付ける学習を行った。図書館司書の方による細やかなレファレンスのおかげで、4年生全員が目的の本を探すことができた。また、事前に市立図書館貸し出し券を全員が持つように配慮することで、たくさんの本がある図書館で好きな本を借りることができることに非常に大きな満足感を得たようだった。
- ・中央図書館を利用したことのある児童はあまり多くなく、蔵書数が多いと思っていた西岡図書館よりもはるかに多くの本があることに大きな感銘を受けていた。また、中央図書館ではこれまでの学習を生かして「冬」にまつわる本を十進分類表や書架の見出しを手掛かりに素早く探し出すことができた。

授業の成果と課題

今回の中央図書館での学習では、学校図書館の蔵書数をはるかに上回る中央図書館でも本の探し方は同じであることを学び、子どもたちが中央図書館をはじめとする市立図書館利用に大きな関心を寄せたことが大きな成果である。

本校は、図書ボランティアによる図書館運営や家庭教育学級「お話の会」による朝と放課後の読み聞かせ、札幌大学の学生による英語の読み聞かせなどの協力が得られるだけでなく、地域図書館も近くにあり、読書活動を推進する上で恵まれた環境にある。今後は2年生の国語での学校図書館についての学習、3年生の総合的な学習の時間での地域図書館についての学習を通じて体系的な図書館使用の学習を推進し、学習における図書利用のスキルを身に付けるだけでなく、地域図書館、中央図書館を利用する良さを啓発していきたい。